



燕市立燕東小学校 学校だより

令和7年1月10日

No. 10

↓学校ホームページ

あすなる



地域の中で「ものづくりのまち燕」を探究

～燕東小地域教育プログラムが県推薦に～

校長 鈴木 華奈子

燕東小学校では、「ものづくりのまち燕」を学ぶ地域教育プログラムに全学年で取り組んでいます。

このたび、この取組が注目され、時事通信社の教育奨励賞に新潟県から推薦いただきました。そして、12月13日発行「内外教育」に燕東小学校のプログラムの概要が掲載されました。

このプログラムには、地域にでかけ、地域の方と出会い、たくさんの体験をとおして、「ものづくりのまち燕」を知り、燕への愛着と誇りをもって地域に関わり続ける人になってほしいとの願いが込められています。

子どもたちは、地域の歴史、建造物、地域の企業・店舗・芸術活動・公共施設等で活躍する人々に触れ「すごい!」「かっこいい!」と驚きや感動をおぼえ、「私たちが〇〇をやりたい!」「もっと多くの人に燕の魅力を知らせたい!」「将来の燕のために今できることをしたい」との思いをもちテーマと活動を決めていきます。



3年生 大型地域すごろく
地域クイズのすごろくで他地域の先生方に地域をアピール。楽しいと覚えるから、燕のよさを広げてもらえる!



4年生 道の駅あかもん
赤門模型・昔写真・年表・クイズ・ジオラマなどで探究結果を紹介。地域の「笑学校」の皆さんとコラボ。



5年生 会社体験
伝統工芸体験・企業見学・消費者リサーチ等をとおして、魅力ある商品を開発・製造・販売する会社を設立。



6年生 今の燕・みらいの燕
燕を活かし燕で生きる、様々な地域で活躍する人から話を聞き、燕の今の魅力と課題、これからの考え、発信。

これらは地域の皆様のご理解とご協力があるからこそ成り立つ取組です。また、子どもたちの思いを受け、柔軟に地域と学校をつないでくださる地域コーディネーターの皆様のおかげで、毎年子どもたちは新しいことに挑戦できています。地域の皆様のおかげで、子どもたちに自分の未来と地域の未来を創る力が育まれていることが評価され、今回の推薦となったと受け止めております。

幼い頃から地域の人たちに温かく支えられてきた経験は、その人のアイデンティティーを確たるものにし得ると言われています。地域に出掛け、地域を知り、地域に働き掛ける「燕東小地域教育プログラム」。新しい年も引き続き、地域の皆様と一緒に深め、広げていきたいと思っております。

今年も燕東小学校の教育活動に一層のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

2 学期学校評価～重点課題の成果と課題～

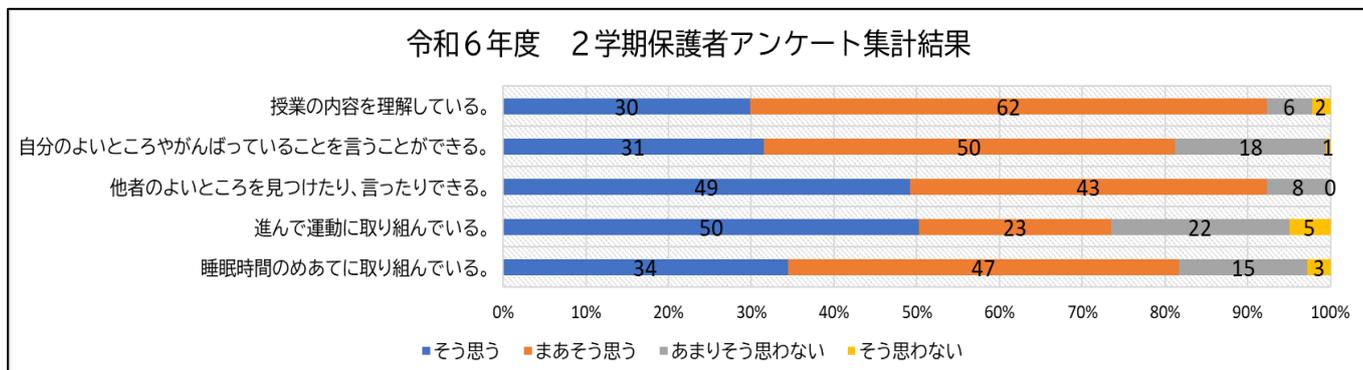
「学力の向上」「豊かな心の育成」「体力の向上」の3つの重点課題について、2学期の取組をふりかえり、成果と課題をまとめました。課題の克服に向け、3学期も取組を進めていきます。

重点課題	成果	課題
学力の向上	表現する力の育成 自分の学びを振り返る際の視点をまとめた共通の掲示物「学びのアカモン」を活用したことで、一定の文量を書ける児童が増えました。また、自分の考えを話す、他の人の考えを代替して話す、友達と考えをつないで話すなど、話す場の確保や話し方の工夫をしたことで話す力も付いてきました。	振り返りの内容に個人差が見られます。モデル文やキーワードを示し、より質の高い記述となるようにしていきます。話すことについては、発表するだけではなく双方向のやり取りで理解を深めることが必要です。ペアやグループ、全体など話す場の工夫や、教師からの問い返しを継続していきます。
	基礎基本の定着 宿題と自主学習に取り組む家庭学習の習慣がほとんどの児童に定着しています。週予定を見て、自主学習でテスト勉強や単元のまとめをする児童が増えています。また、算数を中心として学習支援員による個別指導を行って補充していることで、テストの正答率は全体的に向上傾向にあります。	全体的にはよい傾向ですが、初見の文章を読んで理解したり、問題文で聞かれていることを正しく読み取ったりすることが苦手な児童がいます。キーワードに印をつけたり、日々の音読を継続したりすることで正しく読む力を伸ばせるよう、今後も指導を継続していきます。
豊かな心の育成	自己肯定感 様々な活動を通じて、達成感や成就感を感じたり、自分のがんばりやよさを振り返ったりすることで、自己肯定感が高まってきました。また、他者（友達や教師）からのプラス面の評価をもらうことで、再度自分を見つめ直し、自分のがんばりやよさを改めて実感する姿が見られるようになってきました。	一人一人によいところ、がんばっているところはあるのですが、自分のマイナス面ばかりに目が向いてしまう児童がいます。一人一人が活躍する場や認められる場を作ったり、普段の生活から子どもたちのがんばりやよさを積極的に伝えたりすることで、あたたかい交流を継続し、積み重ねていきます。
	他者理解 各クラスで、友達のがんばりを具体的に伝える活動を意図的に行ってきました。言われた側から「ありがとう」と感謝を伝える姿も見られ、クラスのあたたかい雰囲気にもつながっています。2学期は行事の前後に異学年が交流する機会を計画的に設定し、お互いのがんばりを伝え合う場を確保しました。	友達のがんばりを伝え合う活動では、発表し合うだけでなく、カードに書き蓄積することで、自分のよさや頑張りを見返すことができるようにします。また、あすなろ班の交流の機会を大切にするとともに、活動後は班の仲間のよいところやがんばったところをカードに書き、直接手渡す機会を設定します。
体力の向上	運動意欲の向上 体育の授業では「よりよい動き」をテーマに、友達と互いの動きを観察しアドバイスを交換する場を設定しました。子どもたちは課題の改善に向けて試行錯誤し、主体的に運動に取り組みました。教え合い、学び合うことで、運動能力だけでなく、課題解決能力やコミュニケーション能力も高まってきました。	全学級で ICT を活用した体育授業を展開しています。考える時間と運動量の確保を両立させることが重要となる中、自分の動きを客観的に見たり、動きのポイントを確認したりできる ICT 機器を有効活用し、運動への意欲を高め、子どもたちが楽しく運動できる授業を推進していきます。
	基本的な生活習慣 2 回目のげんきアップ週間の結果、「早寝」の平均点がアップしました。寒い時期にも関わらず、すばらしいと思います。がんばることができた子は、睡眠をとることのよさも実感できたようです。学校では事前指導に力を入れ、毎日カードを提出してもらいながら、声を掛け、励ましながら取り組みました。	「お家のルール」を守るのが難しい子もいました。保護者の皆様からご協力いただけるよう、「お家のルール」を決める必要性について働きかける機会を多くしていきます。カードの「お家の方からの一言」がお子さんを褒めていただくよい機会になるよう、今後も事前指導に力を入れていきます。

保護者アンケートありがとうございました

2学期末の保護者アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。たくさんの貴重なご意見をいただきました。今後の教育活動に生かしていきます。

【2学期保護者アンケート集計結果】



特に「授業理解」や「他者理解」に関して肯定的評価を多くいただきました。一方で、「自己理解」や「運動意欲」については、子どもたちに対して丁寧に寄り添い、前向きな言葉掛けを継続することの重要性を再確認しました。引き続き取組を行っていきますので、ご協力をお願いいたします。

【自由記述から】

自由記述では、学校の取組に対する意見・要望をいただきました。紙面の関係で、すべての意見・要望に対して回答できませんが、全体に関わる事柄について、以下のとおり回答いたします。

- 赤門祭で、立体作品を見てみたい。
- 今年の音楽祭、6年生の演奏がとても素敵でした。保護者も全学年の演奏が聴きたいです。
 - ⇒ 赤門祭で展示する作品は、コンクール出品等の関係から、今後も絵画作品を展示する方向です。立体作品や版画作品については、学習参観や個人懇談など、保護者の皆様が来校される際に展示できるようにしていきます。
 - ⇒ 音楽会の保護者席への入場については、同様のご意見を複数いただきました。来年度に向けて検討していきます。

- 子どもが「授業中に騒ぐ子がいて、授業が進まないでいやだ」と言っていました。
- 授業中にケンカが始まることもあり、授業に集中しにくい時があると言っていました。今以上に楽しく集中して授業を受けられる環境を整えていただけるとありがたいです。
- 授業中に騒がしいなど集中できない子がいて、授業が中断することがあるようです。先生の人数を増やすなど子どもたちに目が行き届くようにするなど工夫してほしいです。授業内容はとても分かりやすく、おもしろく楽しいと言っている分、とても残念です。
 - ⇒ ご心配をおかけして申し訳ありません。学校では、まず「みんなが気持ちよく受けられる授業」について指導するとともに、「授業に集中しにくい」と感じている子の思いを聞き取り、丁寧に対応するよう努めます。必要に応じて級外職員が授業に入るなど、より一層子どもたちが安心して授業を受けられる環境づくりに努めていきます。

- 危険なのは分かりますが、悪天候の際に傘を差さずに帰れと指導するのはどうかと思います。
 - ⇒ 雨に加えて風が強いときは、児童に対し、①一人で帰らず、必ず集団で帰ること。②風が強いときは傘を差さないこと。③歩道の道路側は歩かず、真ん中を通るようにすること。④物を手に持たず、両手を空けておくこと。を指導していますが、改めて状況に応じて判断するよう指導します。ご家庭でも安全な登下校についてお話いただき、必要に応じてレインコートなどの雨具を持たせるなど、ご協力をお願いいたします。

- ・ ヘルメットをかぶらずに自転車に乗っている子をよく見ます。家庭での指導の違いもあるかと思いますが、学校からももう少し子どもたちに向けて継続的に指導が必要なのではないのでしょうか。

⇒ 学校では、年に1回交通安全指導を行い、その際にヘルメット着用を励行しています。自転車走行時のヘルメット着用について、県は「『自転車を運転する全ての人はヘルメットを着用すること』『自転車の運転者は同乗する人にもヘルメットを着用させること』が努力義務」であるとしていますが、ご家庭でも安全な自転車走行に向けてお子さんと話し合っていたいただきたいと思います。

- ・ 校外学習を毎回楽しみにしています。休日は校外学習へ行くような場所にあまり連れて行かないので回数を増やしてほしいです。

⇒ 本校は「地域教育プログラム」を立ち上げ、地域での学習を重視して取り組んでいます。ご理解いただき、ありがとうございます。校外学習にマイクロバス等で移動する場合は予算に限りがありますが、その中でも活動をより充実させられるよう、今後も取り組んでいきます。

- ・ 新型コロナウイルスの影響で半日に縮小した行事を以前のようなかたちに復活させてほしいと希望しています。運動会や赤門祭など、本来の様子を知ることなく成長していくのはとても寂しく思います。

⇒ 昨年12月10日のマチコミメールで燕市教育委員会から通知されたように、全国的に授業時数の見直しや学校行事のより一層の精選が求められています。これを受け、運動会や赤門祭を含め様々な教育活動について、その有効性を改めて精査し、来年度以降の開催方法を検討していきます。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

この他にも、「相談した時にすぐに対処してくれて助かった。」「ホームページで子どもたちの学校での様子を知ることができてありがたい。」「担任の先生はもちろん、担任以外の先生も子どもに声をかけていただき、ありがたい。」など、たくさんの励ましのお言葉もいただきました。励みになります。ありがとうございます。

様々な条件がある中で、学校にもできること・できないことがあります。子どもたちのより良い成長のために、職員と保護者の皆様が忌憚なく話し合える関係性が重要であると考えます。引き続き、気になることがありましたら、遠慮なく学校へお聞かせくださいますようお願いいたします。

電話対応の時間が変更になりました

保護者の皆様には、12月27日付のマチコミメールで燕市教育委員会から案内済みですが、令和7年1月6日から電話対応時間が以下のとおり変更になりました。ご理解とご協力をお願いいたします。

【変更前】

平日 朝 7:30 ~ 夕方 18:20 まで

【変更後・1月6日~】

平日 朝 7:45 ~ 夕方 18:00 まで

- * この時間内でも、勤務時間(8:10~16:40)外の場合、職員が不在の場合があります。
- * 緊急の場合は、燕市教育委員会(080-8750-2925)までご連絡ください。

